



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ティッシュ・テック エクスプレス® x120 専用薬液 第二薬液
製品コード : 7732
供給者の会社名称 : サクラファインテックジャパン株式会社
住所 : 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
担当部門 : 開発企画部
電話番号 / FAX 番号 : 03-5643-2629 フリーダイヤル:0120-392-874 / 03-5643-3382
緊急連絡電話番号 : 03-5643-2629
e-mail : general@sakura-finetek.com
推奨用途 : 連続迅速自動固定包埋装置ティッシュ・テック エクスプレス® エックス 120 専用薬液
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 GHS 分類がある場合

健康に対する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性)
上記に記載のない分類項目については、区分に該当しない又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : 感嘆符



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : [H320] 眼刺激
[H335] 呼吸器への刺激の恐れ

注意書き

安全対策 : [P201] 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
[P261] 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを避けること。
[P264] 取扱い後はよく眼を洗うこと。
[P271] 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
応急措置 : [P304+P340] 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
[P305+P351+P338] 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
[P312] 気分が悪いときは医師に連絡すること。
[P337+P313] 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
保管 : [P403+P233] 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
[P405] 施錠して保管すること。
廃棄 : [P501] 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するこ
と。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名	化学式	濃度又は濃度範囲 (w/w%)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
パラフィンワックス	C _n H _{2n+2}	営業秘密(注1)	(8)-414, (8)-430	既存	8002-74-2

GHS分類に寄与する成分 : GHS分類に寄与する成分は本製品に含まれていない
(不純物及び安定化添加物も含む)

(注1) 営業上の秘密のため濃度範囲を省略しています。

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状 : 目に直接触れると一時的な刺激を引き起こす可能性があります。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 救助者は8章の保護具の欄を参照し、適切な保護具を使用すること。

医師に対する特別な注意事項 : この SDS、製品容器やラベルを見せること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤 : データなし

火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- 接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
- 衛生対策 : 取り扱い後、飲食、喫煙の前には手を洗うなど、常に適切な衛生対策を遵守すること。
作業服や保護具は定期的に洗濯して、汚染物質を除去すること。

保管

- 安全な保管条件 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
適切な範囲を超えない温度で保管すること。
涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 元の密閉容器で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置**職業ばく露限界**

物質名	管理濃度(安衛法)	許容濃度(日本産業衛生学会)	TLV(ACGIH)
パラフィンワックス	未設定	未設定	TWA 2 mg/m ³ *上気道、ヒューム

濃度基準値(厚生労働大臣が定める濃度の基準)

本製品の原料に要求される八時間濃度基準値、短時間濃度基準値はない。

ばく露防止

- 設備対策 : 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
- 手の保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
- 眼及びまたは顔面の保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体(ペレット)
- 色 : 白色
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : 47-65℃
- 沸点又は初留点 : データなし
- および沸点範囲
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 固体は該当しない。
- 引火点 : 204℃
- 自然発火点 : 245℃ (パラフィンワックス100%として)

分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 固体は該当しない。
溶解度	: 水: 不溶 溶媒: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1 g/mL
相対ガス密度	: 固体は該当しない。
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 本製品は、通常の使用、保管、輸送条件下では安定しており、反応しない。
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	: 熱、火花、炎、高温
混触危険物質	: 還元剤、強酸
危険有害な分解生成物	: 加熱して分解すると、刺激臭のある煙と刺激性のガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: 急性毒性(経口) ラットのLD50値>5000 mg/kg(IUCLID(2000))、>3750 mg/kg(IUCLID(2000))に基づき区分に該当しないとした。
	急性毒性(経皮) ウサギのLD50>3600 mg/kg(IUCLID2000)に基づき、JIS分類の区分に該当しない(国連分類基準の区分5または区分に該当しない)とした。
	急性毒性(吸入: 気体) GHSの定義における固体である。
	急性毒性(吸入: 蒸気) データなし
	急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) データなし
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギを用いた Draize 法による 2 試験において、24 時間適用で「not irritating」と「slightly irritating」の結果があり(何れも IUCLID(2000))、また 20 人のボランティアでの皮膚刺激性試験の結果、1 人にわずかな紅斑が認められた以外、他の 19 人は刺激性を示さなかったとの報告がある(IUCLID(2000))。以上の結果に基づき、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギを用いた Draize 法類似試験において、軽度(slightly)の刺激性(IUCLID(2000))およびウサギの標準 Draize 試験において軽度(mild)の記述(RTECS(2008); Journal of the American College of Toxicology. 3(3), 43, 1984)に基づき、区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性 データなし
	皮膚感作性 データなし
生殖細胞変異原性	: in vivo 試験のデータがなく分類できないとした。なお、Ames 試験(in vitro 変異原性試験)で陰

発がん性	性の結果がある(農薬安全情報(1992))。 ラットに2年間経口投与した試験で、腫瘍の発生率は対照群と比較して差は認められなかったとの報告があり、長期毒性試験における、実験動物に対するパラフィン是非発がん性であるとの記述がある(JECFA(1993))。またウサギ・マウスの2年間経皮試験では、発がん性は認められていない(EHC20(1982))との報告もある。しかし、経口投与による試験では動物1種のための試験データしかなく、区分に該当しないとするには疑義が残るため「分類できない」とした。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ワックスヒュームは眼・鼻・のどに軽度(mild)の刺激性(PATTY5th(2001))に基づき、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラット 90 日間経口投与試験(0, 160, 1600 mg/kg/day)において、赤血球と血小板の減少、肝細胞の空包化、肉芽腫の発達、壊死、腸間膜リンパ節における肉芽腫の発現、細胞の過形成、頸部リンパ節における肉芽腫の発現、心臓僧坊帽弁の基部におけるリンパ球様細胞浸透の増加(JECFA 1056(2003))などの所見が用量依存的に見られたが、区分2のガイダンス値以下で試験が行われていないためデータ不足により分類できない。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(ADR/RID/ANDの規定に従う)

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当

海上輸送(IMOの規定に従う)

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 附属書2及びIBCコードによ	該当 有害液体物質(X 類) パラフィンワックス

るばら積み輸送される
液体物質(該当・非該
当)

有害液体物質(Y 類) パラフィンワックス

航空輸送(ICA0/IATA の規定に従う)

国連番号 : 非該当
品名 : 非該当
国連分類 : 非該当
容器等級 : 非該当

特別の安全対策 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損や漏れ等ないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

国内規制

陸上規制情報 : 消防法に従う。
海上規制情報 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
航空規制情報 : 非該当

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)
固形パラフィン(政令番号:170)

労働安全衛生法(令和 7 年 4 月 1 日以降) : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号、第 3 号、安衛則第 30 条別表第 2)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号、第 3 号、安衛則第 34 条の 2 別表第 2)
固形パラフィン(安衛則別表第 2 の番号:583)

毒物及び劇物取締法 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 非該当
化学物質審査規制法 : 非該当
消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類(法第 9 条の 4、危険物令第 1 条の 12・別表第 4)
船舶安全法 : 非該当
港則法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 該当
有害液体物質(X 類) パラフィンワックス
有害液体物質(Y 類) パラフィンワックス

航空法 : 非該当
労働基準法 : がん原性化学物質(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 7 号)

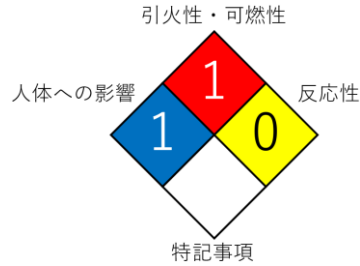
16. その他の情報

参考文献 : 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
OECD テストガイドライン
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
NITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

職場のあんぜんサイト(厚生労働省)
日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
TLVs and BEIs (ACGIH)
国連危険物輸送勧告 (TDG)
危険物輸送のための緊急時応急措置指針 (ERG)

NFPA

: 本品の製造元が関係する全米防火協会 NFPA(National Fire Protection Association)が策定・管理している化学薬品の危険有害性を表示する規格である「ファイア・ダイヤモンド」表示にて、本品の危険有害性を記す。



NFPA 危険評価

- 4-非常に高い危険性を持つ
- 3-高い危険性を持つ
- 2-危険性を持つ
- 1-若干の危険性を持つ
- 0-危険性はほとんどない

免責事項

: この安全データシートは、JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、危険有害性情報に基づいて作成されているが、必ずしも十分ではない可能性があるため、本製品の取り扱いには十分に注意が必要である。この安全データシートの記載内容については、法令の改正及び新しい知見等に基づき改訂が必要となる場合があるため、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではない。この安全データシートの内容は通常の取り扱いを対象としたものであるため、特別な取り扱いをする場合には、専門家等の判断を踏まえて用途や条件に適した安全対策等を実施することが必要である。

卸店